

株式会社 トリケミカル研究所
第48期(2026年1月期)
第2四半期決算説明資料

東京証券取引所
証券コード：4369

1. 2026年1月期第2四半期決算実績

単位：百万円

	26.1期 上期実績	26.1期 上期計画	(ご参考) 25.1期 上期実績	(ご参考)前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	12,375	12,300	7,974	4,400	55.2%
営業利益	3,177	3,050	1,939	1,238	63.9%
経常利益	3,800	3,500	2,680	1,119	41.8%
当期純利益	2,776	2,550	2,031	745	36.7%

上期として過去最高売上・営業利益
先端半導体向けを中心とした業績の大幅成長
経常利益に持分法投資利益619百万円(前年同期比-19.4%)
日本・台湾・韓国市場は好調に推移も中国市場の現状を鑑み通期計画を下方修正

単位：百万円

	25/7月末	(ご参考) 25.1期末	増減額
流動資産	21,134	21,456	-321
固定資産	20,630	15,488	5,141
資産合計	41,764	36,944	4,820
流動負債	7,536	4,182	3,354
固定負債	937	1,174	-236
負債合計	8,474	5,356	3,117
株主資本	32,387	30,748	1,639
その他包括利益累計額	902	839	63
純資産合計	33,290	31,587	1,702
負債純資産合計	41,764	36,944	4,820

主な増減要因

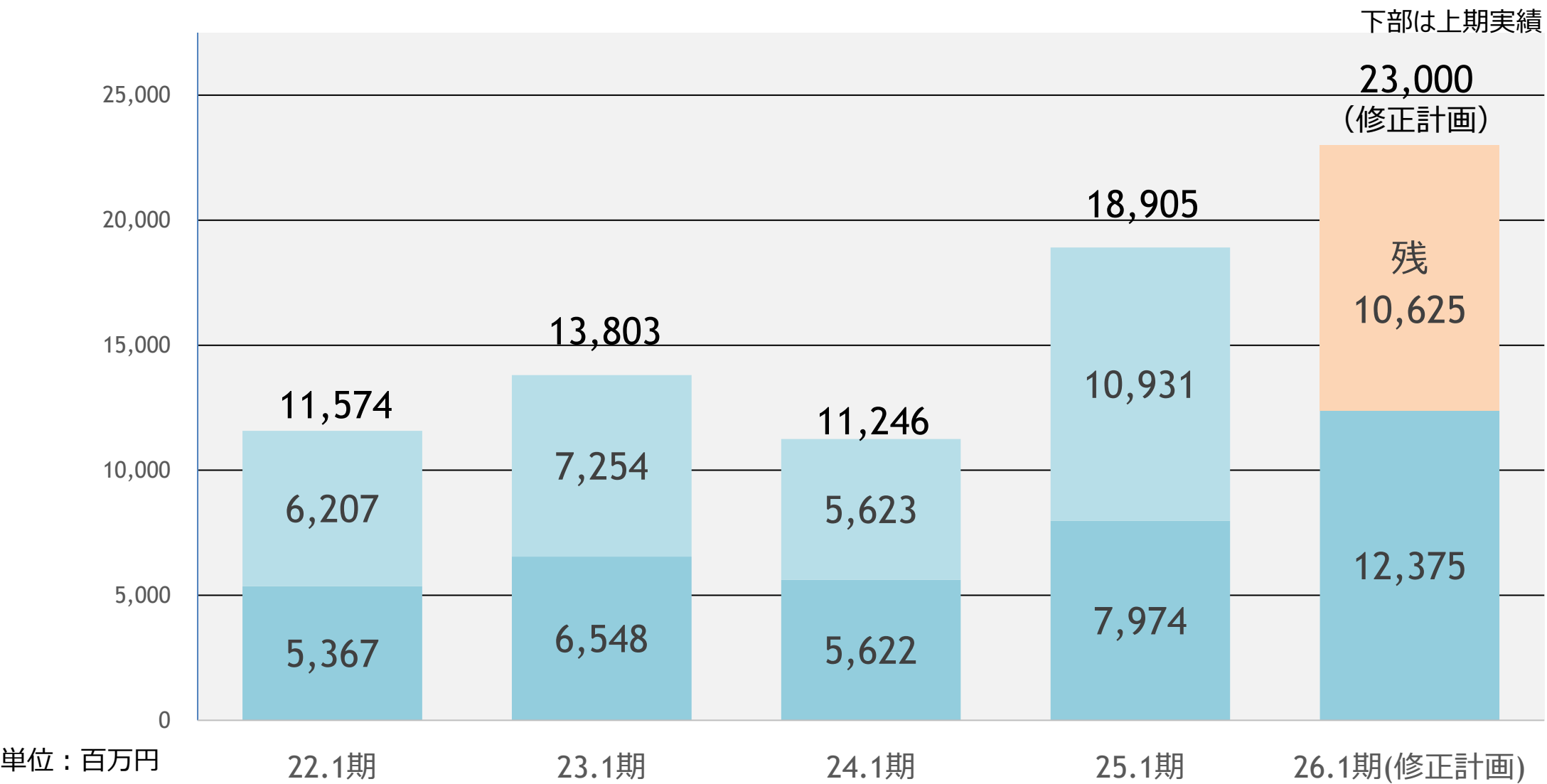
流動資産	現金及び預金の減少	-2,342
	棚卸資産の増加	+1,063
	売掛債権の増加	+582
固定資産	設備投資に伴う有形固定資産の増加	+4,441
	持分法投資利益取り込みに伴う 投資有価証券増加	+668
流動負債	未払金の増加	+1,968
	買掛金の増加	+1,478
固定負債	長期借入金の減少	-320
純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+1,639

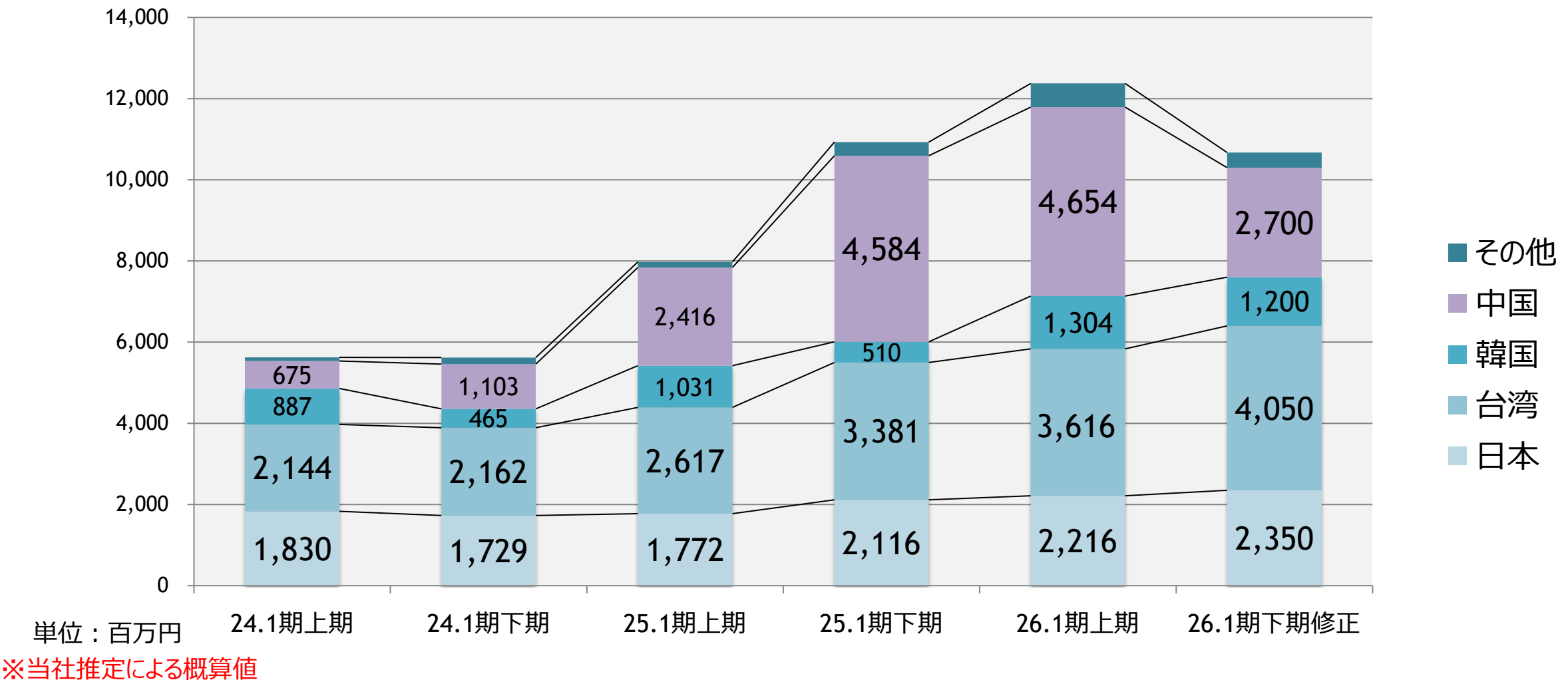
単位：百万円

	26.1期上期	(ご参考) 25.1期上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,728	1,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,549	-1,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,526	-1,207
現金及び現金同等物の増減額	-2,342	-966
現金及び現金同等物の期末残高	7,096	9,530

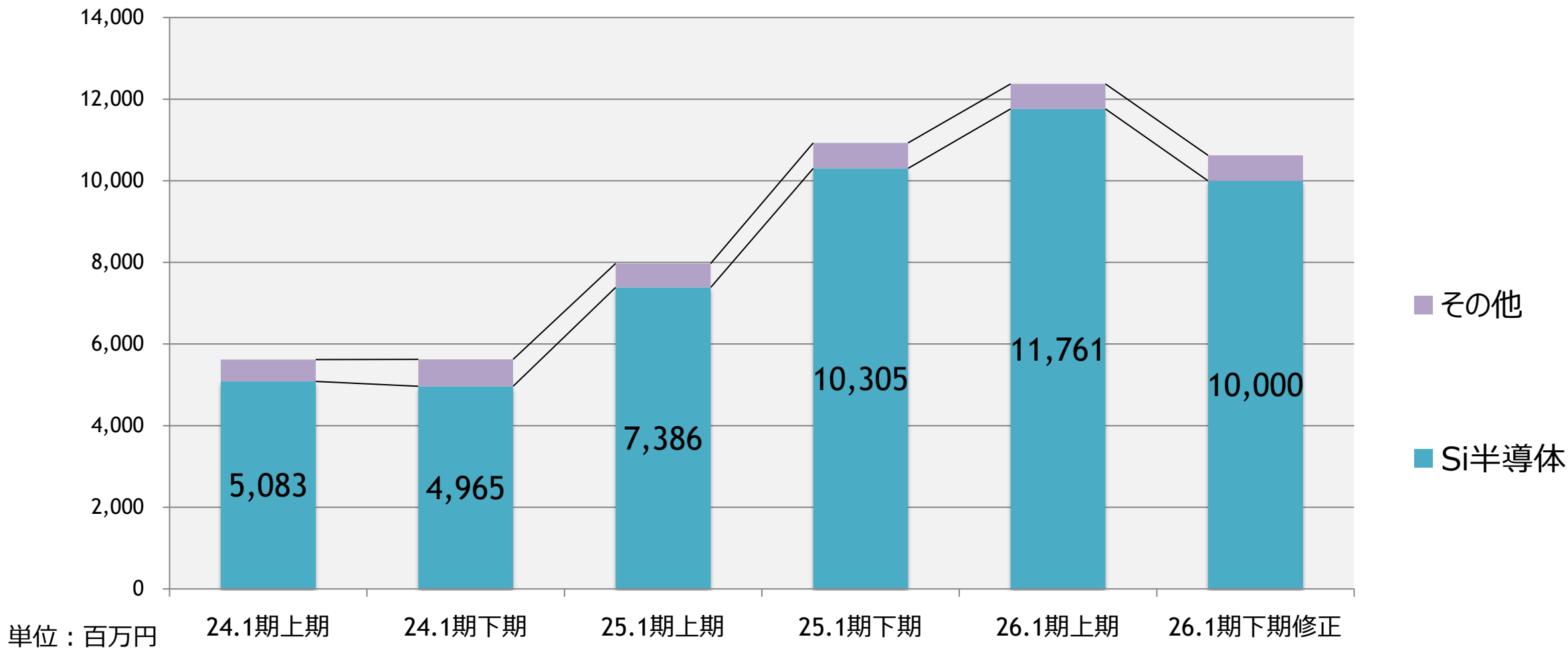
CFの状況

営業CF	税前当期利益計上	+3,800
	仕入債務の増加額	+1,455
	棚卸資産の増加額	-1,074
	持分法による投資利益	-619
	売上債権の増加額	-552
投資CF	有形固定資産の取得	-3,512
財務CF	配当金の支払額	-1,136
	借入金返済	-333



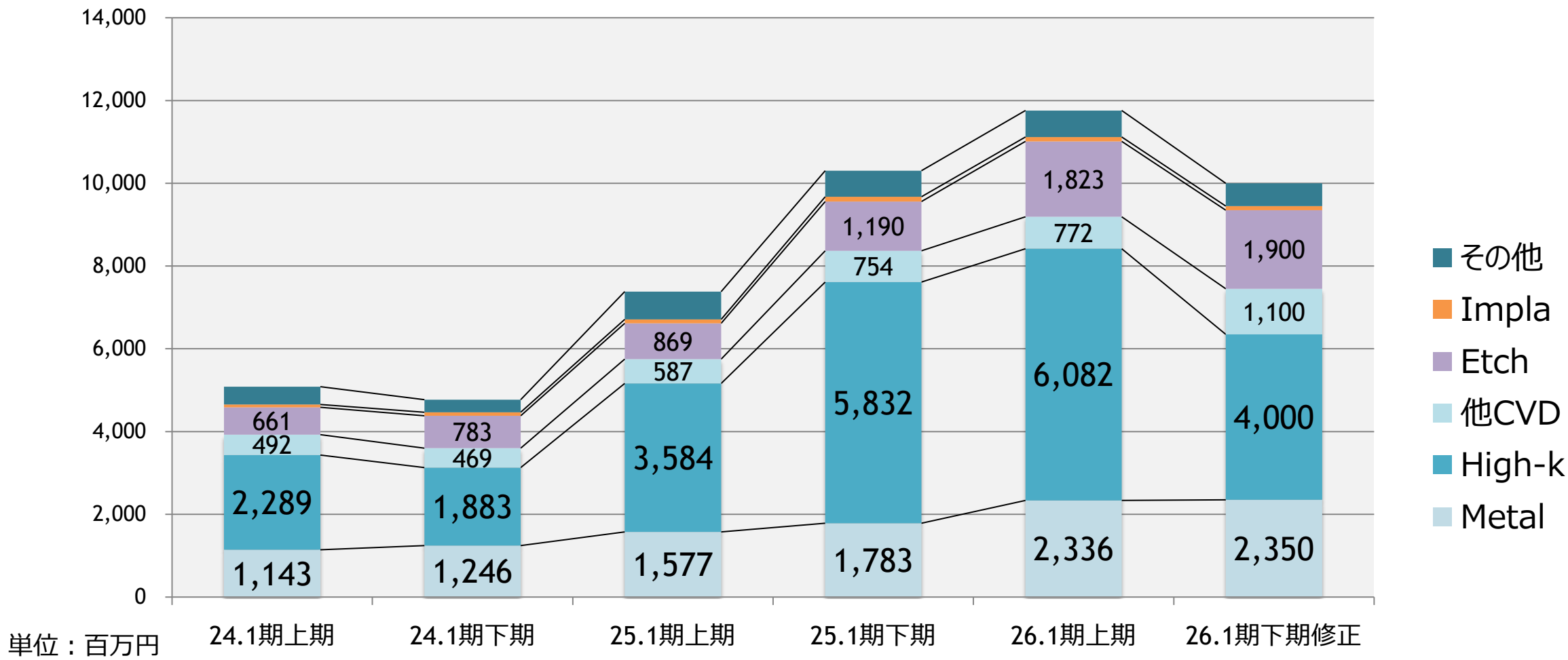


上期は各地域とも前年実績を上回るも下期は中国向けが大幅減



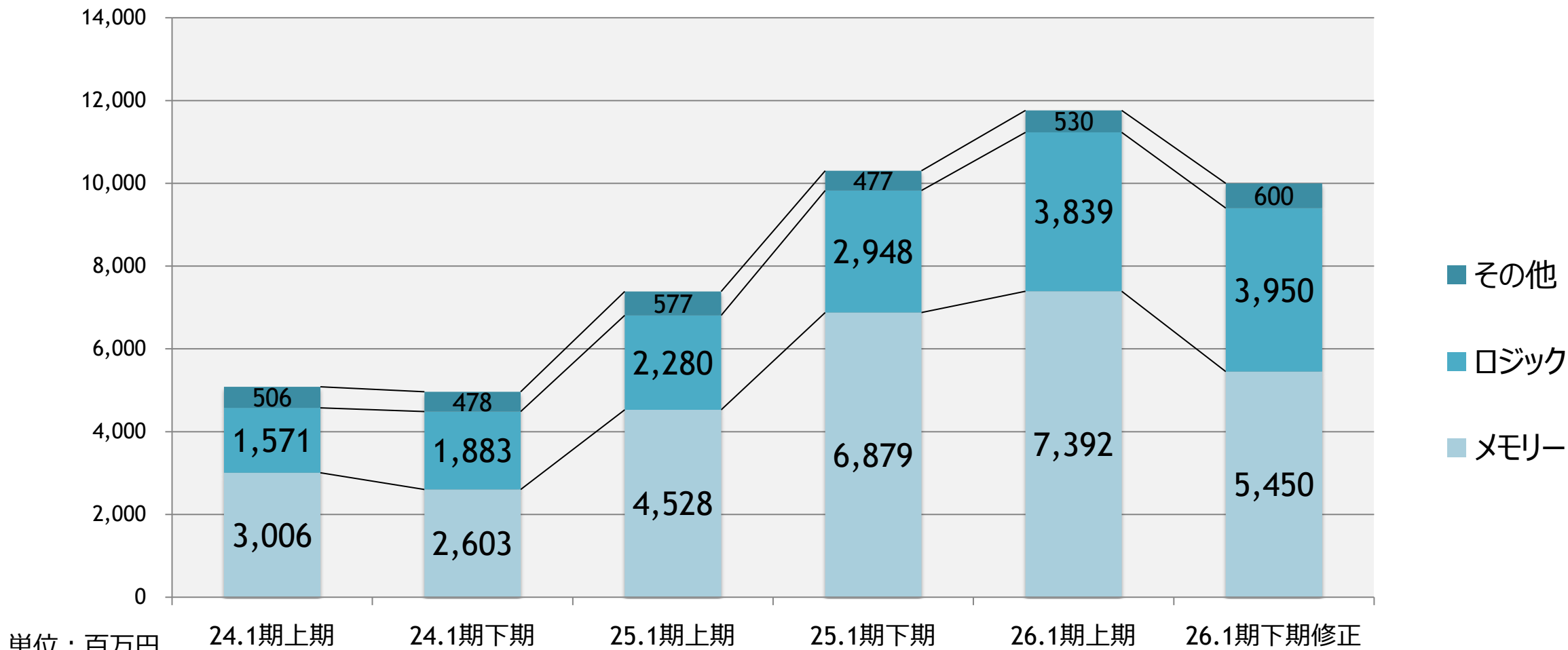
※当社推定による概算値

下期は中国向け減少の影響大



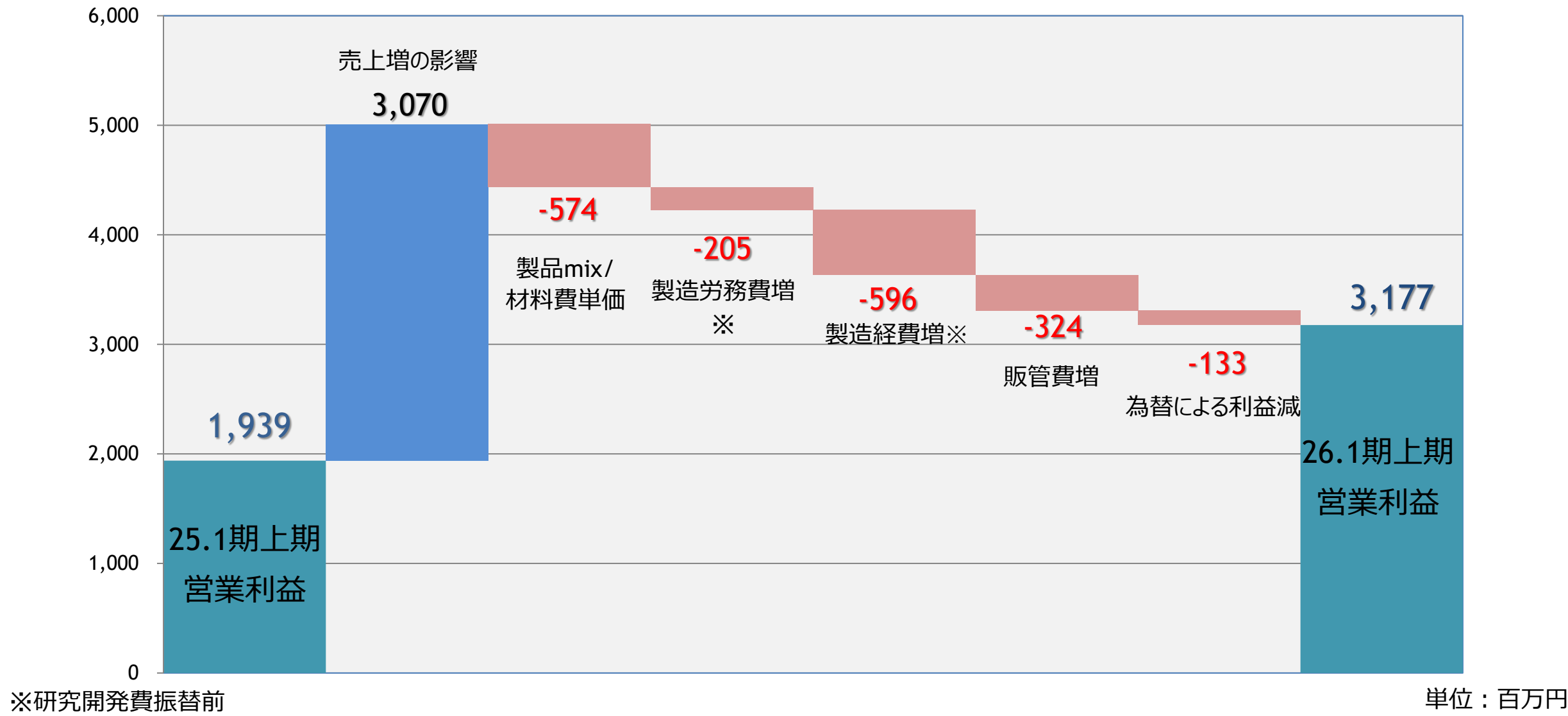
※当社推定による概算値

中国High-k以外は堅調



※当社推定による概算値

ロジック向けは好調を維持



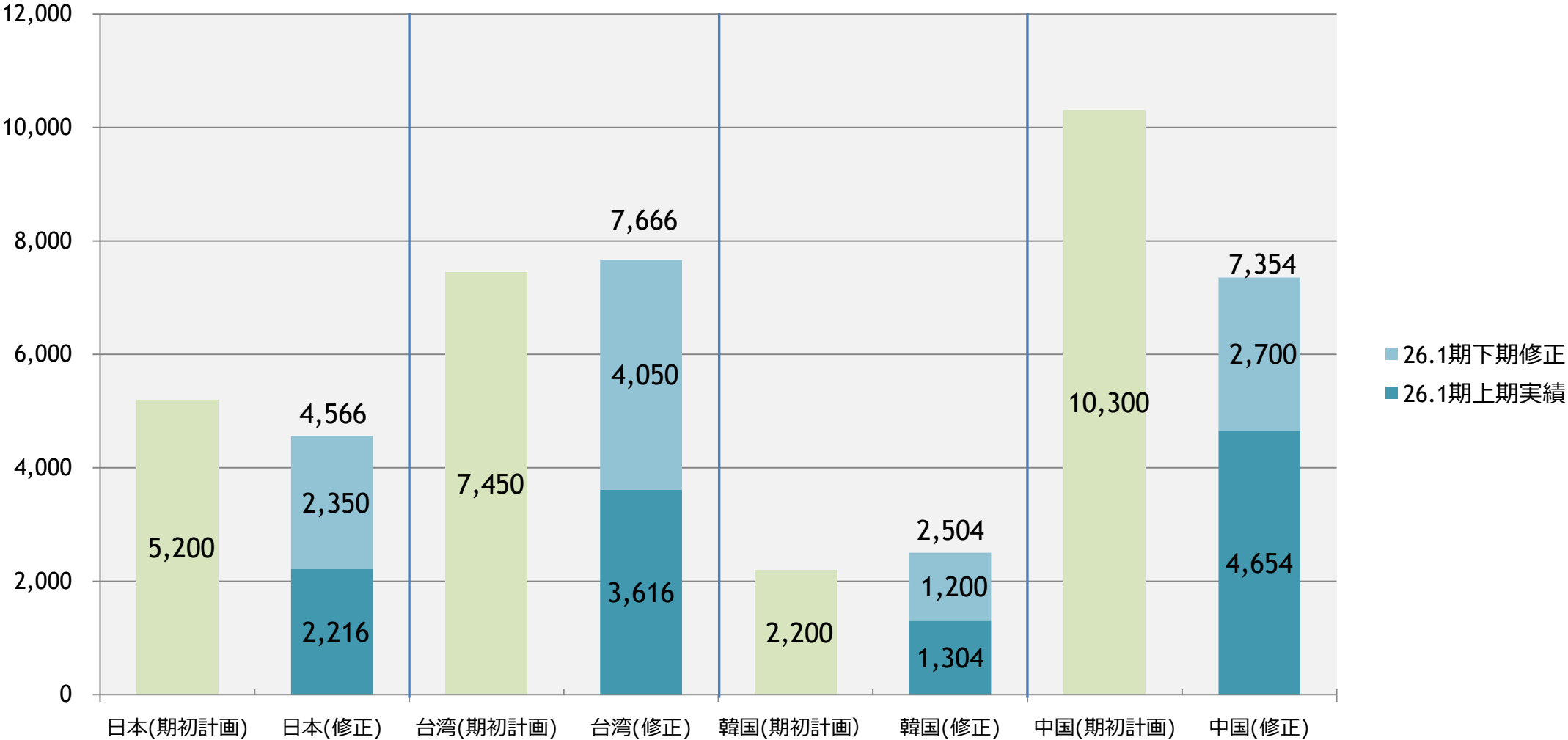
2. 2026年1月期業績見通し及び戦略

単位：百万円

	26.1期上期	26.1期通期 (8/29修正計画)	進捗率 (対修正計画)	(ご参考) 修正前 26.1期通期計画	(ご参考) 25.1期通期
売上高	12,375	23,000	53.8%	26,000	18,905
営業利益	3,177	5,500	57.8%	6,050	5,256
経常利益	3,800	6,530	58.2%	6,900	6,583
当期純利益	2,776	4,800	57.9%	5,000	4,961

為替は140円/1米ドル設定を継続

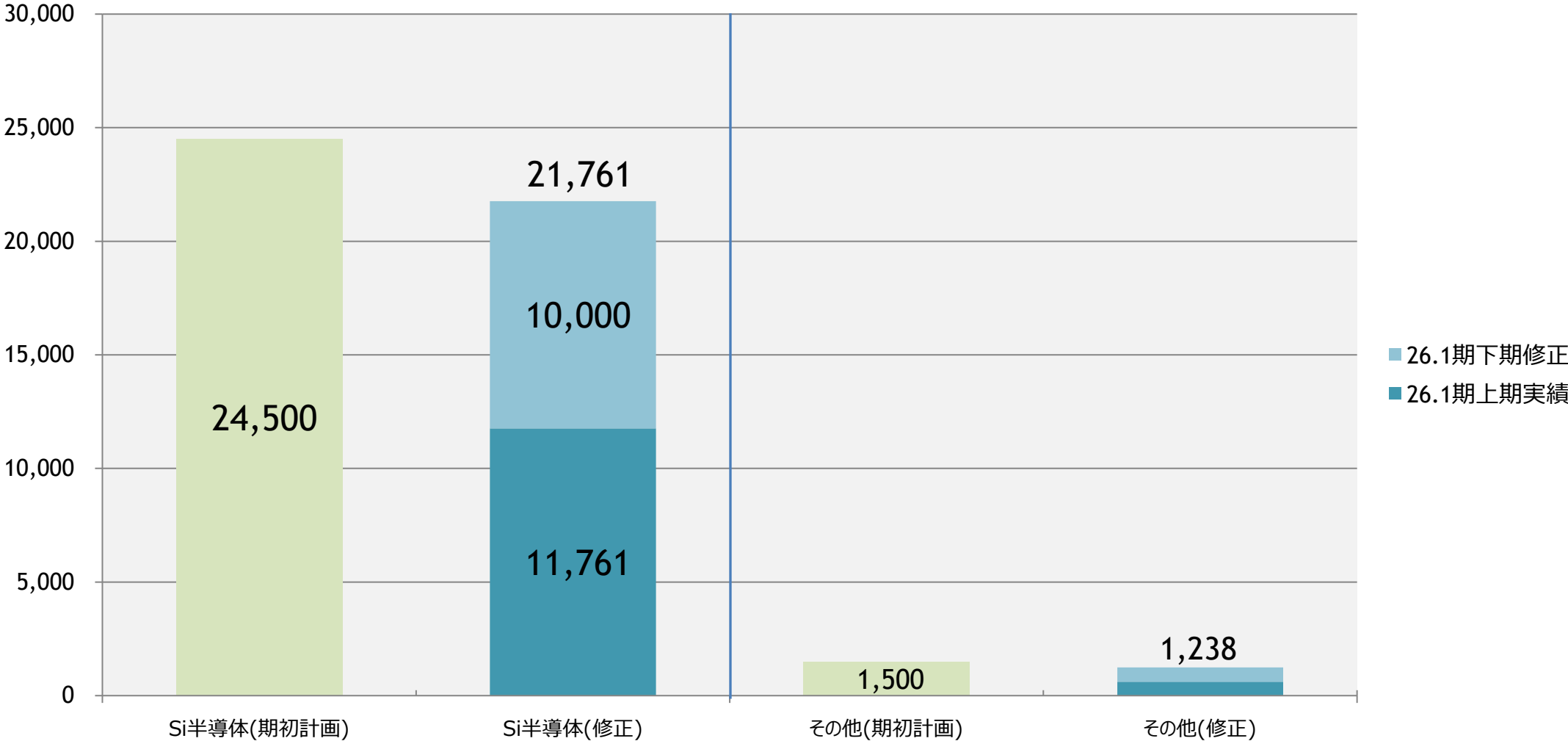
中国向けHigh-k材料が大幅減の見通し→業績予想を下方修正



※当社推定による概算値

単位：百万円

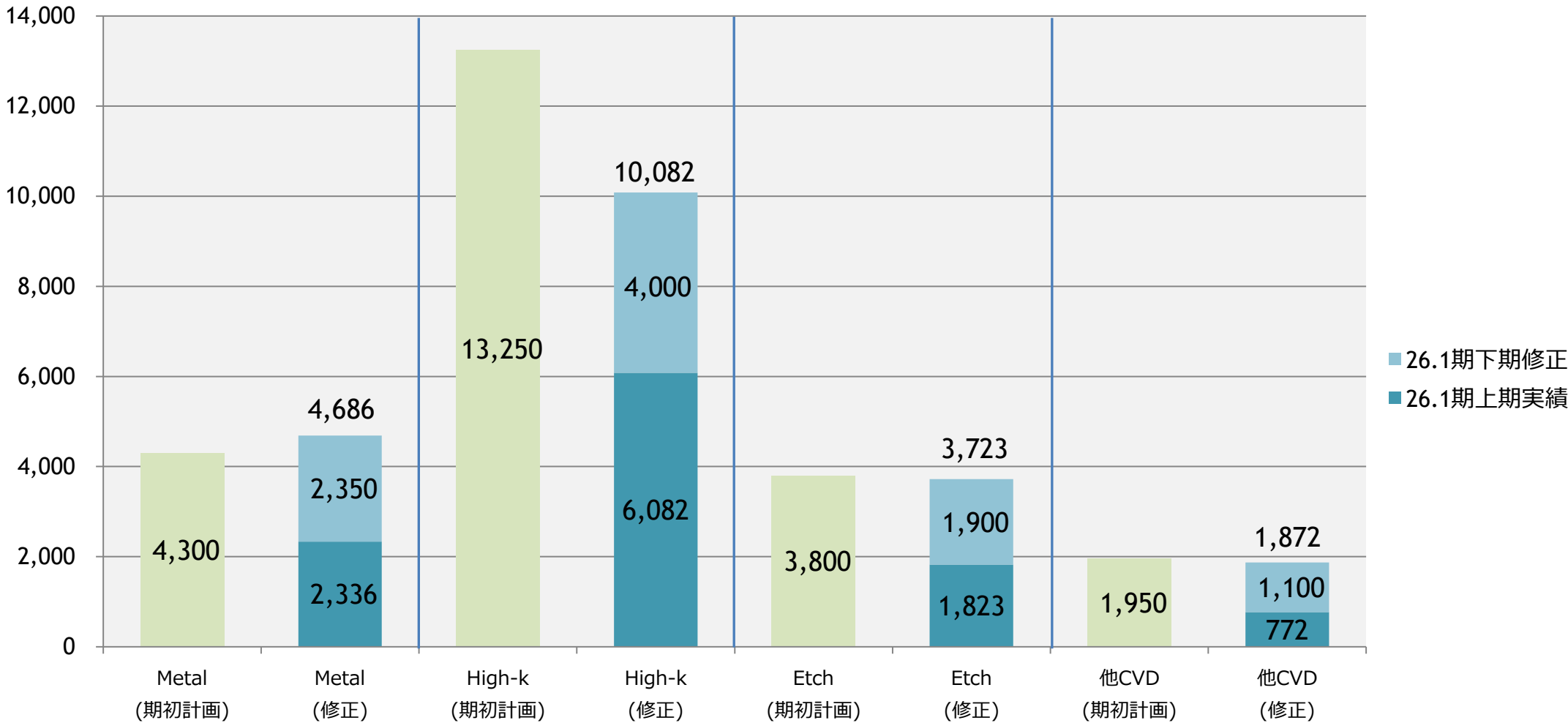
台湾・韓国向けは堅調に推移する見通し



※当社推定による概算値

単位：百万円

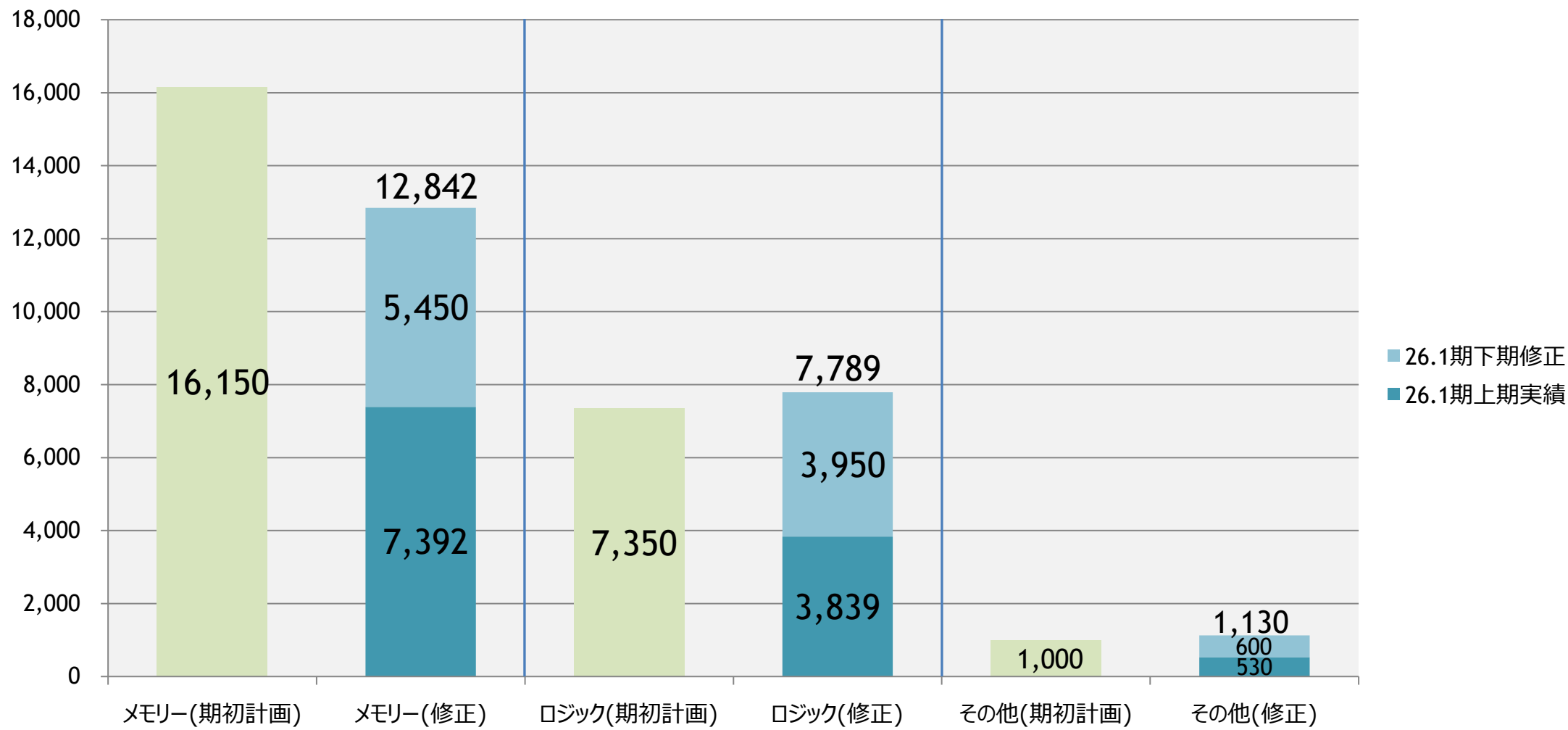
Si半導体のマイナスは中国、その他のマイナスは日本がメイン



※当社推定による概算値

単位：百万円

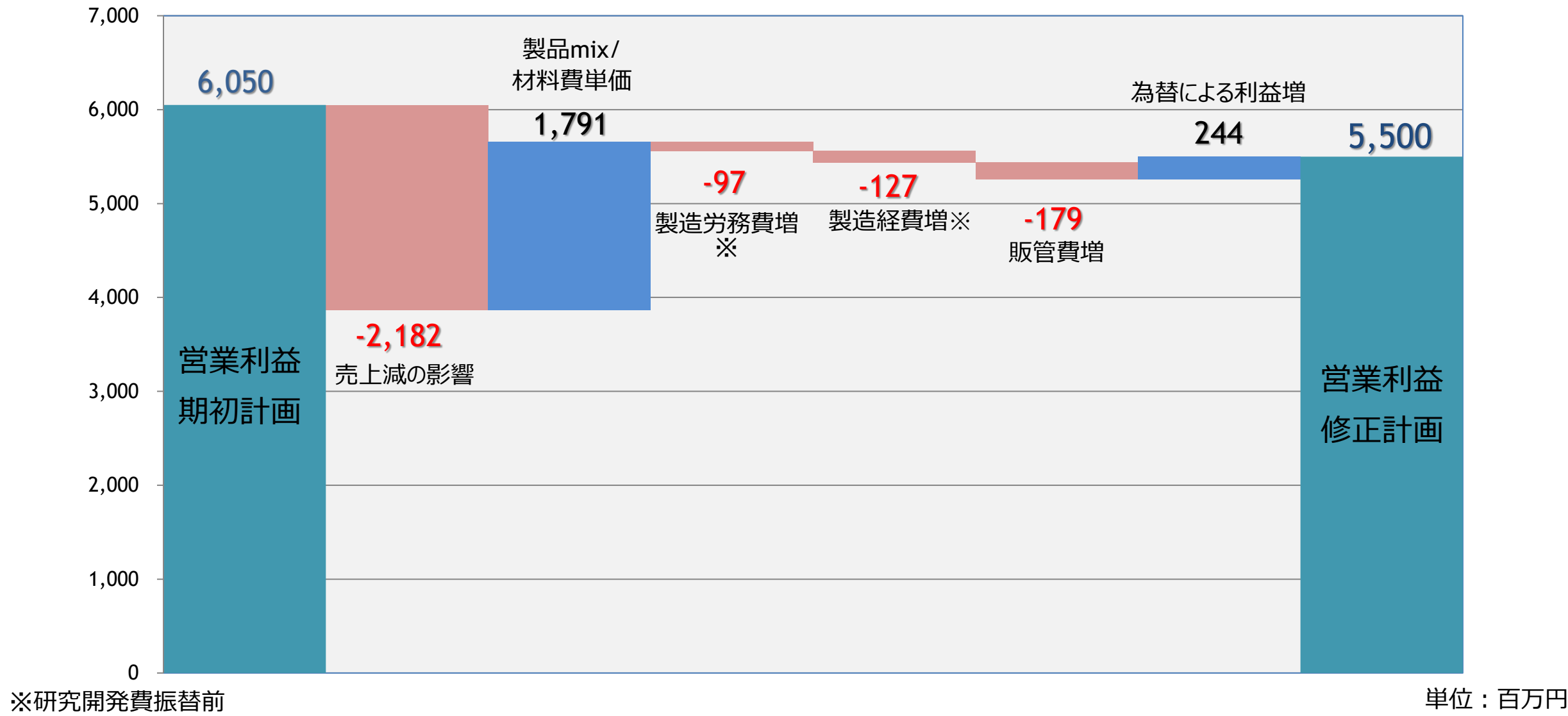
High-k材料以外は概ね期初計画ライン



※当社推定による概算値

単位：百万円

先端ロジック向けを中心とした成長



外部環境見通しなど

1. 中国DRAMは在庫調整＋生産効率化により材料消費減少の見通し
2. 台湾を中心として先端半導体向けは好調を維持
3. 新規エッチング材料はほぼ想定通りの推移
4. 為替見通しは期初計画を維持(\$1 = ¥140)

下期の施策

1. 南アルプス事業所における次世代半導体材料の生産体制構築
2. 計画見直しに伴う生産体制の最適化検討
3. 安全・品質管理体制の強化継続
4. 台湾子会社における製品顧客評価を拡大・促進

3. 中期経営計画各施策の進捗



立ち上げ作業はほぼスケジュール通りに進行
現在材料の試作・データ収集中

中国合弁会社の概要

商号	安徳拓化 (安徽) 電子材料有限公司（予定） (AD-Trichem (Anhui) Electronic Materials Co., Ltd.)
本店所在地	中華人民共和国安徽省合肥市
事業内容	先端半導体材料等の研究開発・生産・販売
資本金	100百万人民元（約20億円）（予定）※随時追加の予定
出資比率	当社33% ADChem社67%

- ・中国半導体メーカーの現地調達ニーズに対応しビジネスの拡大を目指す
- ・2026年前半より合弁会社による工場の建設開始(予定)



2025 統合報告書



■ Topics

- ・人的資本の充実
—女性活躍推進 企業認定
「山梨クリスタルえるみん」取得

- ・サステナビリティ
—「電気使用合理化委員会」表彰
—2025年1月期TCFD算出

- ・南アルプス事業所
—2025年3月竣工、評価進行中
—南アルプス市との連携
(ユネスコエコパーク等)

https://www.trichemical.com/ir/pdf/report_2025.pdf

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問合せ先 : homepageinfo2@trichemical.com